



今年春先の気温が低く、前作の麦の刈取終了が数日ほど遅れたことにより、水稻の田植えの準備も遅れることが予想されましたが、後半からは天気に恵まれ、ほぼ例年通りの6月20日を基準とし、平成29年産さがびよりの田植えが行われました。

今年空梅雨で、田んぼに入れる水が足りないことが心配されましたが、無事、さがびよりの田植えを終了することが出来ました。橘産のさがびよりは過去、「日本一おいしい米コンテスト」2年連続入賞という素晴らしい実績をあげています。昨年は惜しくも受賞を逃しましたが、今年産は再び受賞を目指し、丹念な管理が続きます。

『さがびより』の田植え、無事終了

平成29年6月29日発行

緑豊かな自然の町、たちばなのお米



橘産 さがびより

国境を越えて、さがびよりを届けたい

武雄市と橘まちづくり推進協議会の共同企画により、シンガポールのVIP層を対象に『橘産さがびより』の水田オーナーになってもらい、田植え・稲刈り作業の体験、そして最後は収穫した『橘産さがびより』をオーナーの元へ届ける。こうした取り組みで、海外へ向けて『さがびより』をPRする「さがびよりオーナー制」が始まりました。

そのスタートとなる田植え体験が、6月19日に開催されました。今年5グループ16名がオーナーとして参加いただき、実際に田んぼの中に入り、手植えの作業と、田植え機の運転を体験していただきました。また、山田屋本店より営業企画担当の秋沢様にもお越しいただき、田植え体験にご参加いただきました。当日は天候にも恵まれ、地域の方々の指導と協力のもと、参加者の皆さん慣れない田んぼでの作業に四苦八苦しながらも、絶えず笑い声の聞こえる田植え体験となりました。田植えが終わった後は、昼食に武雄産の食材を使った料理が振る舞われました。国もことばも違う同士が『食と農』で繋がりました。

